



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月15日

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7707 URL <http://www.pss.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 秋本 淳 TEL 047-303-4800
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績 (平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	3,938	38.2	△179	ー	△24	ー	△50	ー
26年6月期第3四半期	2,850	0.0	△493	ー	△416	ー	1,030	ー

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 △57百万円 (ー%) 26年6月期第3四半期 △1,205百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	△2.76	ー
26年6月期第3四半期	56.49	ー

(注) 当社は平成26年1月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	6,722	4,130	56.9	209.44
26年6月期	7,298	4,325	55.1	220.22

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 3,822百万円 26年6月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	ー	0.00	ー	7.5	7.5
27年6月期	ー	0.00	ー		
27年6月期 (予想)				0.0	0.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想 (平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	27.5	△380	ー	△230	ー	△260	ー	△14.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (平成27年5月15日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期3Q	18,252,000株	26年6月期	18,252,000株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	0株	26年6月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期3Q	18,252,000株	26年6月期3Q	18,252,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響から、個人消費の回復が遅れている一方、政府の経済政策や金融緩和などにより、企業収益の改善とともに雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、景気は緩やかに回復してまいりました。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、ラボ(研究室)自動化や臨床診断用の各種装置、それらに使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

これら製品は、ロシユグループ、キアゲングループ、アボットグループ、ライフテクノロジーズ社、ナノストリング社、(株)LSIメディエンスなどへのOEM販売(相手先ブランドによる販売)を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高3,938百万円(前年同期比38.2%増)、売上総利益1,420百万円(前年同期比45.7%増)となりました。DNA自動抽出装置を中心とした既存装置に関しては、キアゲングループ及びナノストリング社向けの販売が好調に推移いたしました。また、アボットグループ向けの新規OEM製品である臨床診断用の検体前処理装置も順調に立ち上がり、エリテックグループからは全自動遺伝子診断装置「geneLEAD(ジーンリード)XII」のOEM契約の締結に伴い、手数料の獲得に成功いたしました。これらのことが大きく影響し、増収増益を確保いたしました。

費用面では、製品化の最終局面を迎えている「geneLEAD XII」の開発費を中心に研究開発費603百万円(前年同期比32.7%増)となりましたが、第2四半期連結累計期間における研究開発費472百万円からの増加額は130百万円に留まりました。その他の経費は、概ね前年同期並みであったことから、販売費及び一般管理費としては1,599百万円(前年同期比9.0%増)となり、営業損失△179百万円(前年同期は営業損失△493百万円)となりました。エリテックグループからの手数料収入が大きく収益貢献し、第2四半期連結累計期間の営業損失△289百万円からは110百万円の改善となりました。

その他、為替差益59百万円、秋田県への工場進出(大館試薬センター)に伴う補助金77百万円、NEDOによる研究助成金収入などもあり、営業外収益165百万円を計上いたしました。その結果、経常損失△24百万円(前年同期は経常損失△416百万円)、四半期純損失△50百万円(前年同期は四半期純利益1,030百万円)となりました。なお、前年同期は、多額の特別利益(投資有価証券売却益)を計上しております。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシユグループ	858	30.2	832	21.1	△3.1	1,117	28.5
キアゲングループ	479	16.8	697	17.7	45.4	683	17.4
その他	1,511	53.0	2,408	61.2	59.4	2,120	54.1
合計	2,850	100.0	3,938	100.0	38.2	3,921	100.0

ロシユグループ向け販売は832百万円(前年同期比3.1%減)と若干の減少となりましたが、キアゲングループ向け販売は、エボラ出血熱検査用の需要が盛り上がった第2四半期連結累計期間に引き続き好調に推移し、697百万円(前年同期比45.4%増)と大幅な増収を確保いたしました。

その他販売に関しましては2,408百万円(前年同期比59.4%増)となりました。米国OEM先であるナノストリング社向け販売が好調であった他、アボットグループ向けの新規OEM製品である臨床診断用の検体前処理装置も順調に立ち上がりました。また、エリテックグループからはOEM契約に伴う手数料収入の獲得にも成功し、大幅な増収を確保いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。
(セグメント別売上高)

		前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
報告 セ グ メ ン ト	装置	百万円 1,724	% 60.5	百万円 2,501	% 63.5	% 45.1	百万円 2,320	% 59.2
	試薬・消耗品	701	24.6	850	21.6	21.3	978	24.9
	メンテナンス関連	212	7.5	258	6.6	21.4	300	7.7
	受託製造	205	7.2	328	8.3	59.7	315	8.0
	その他	6	0.2	—	—	—	6	0.2
合計		2,850	100.0	3,938	100.0	38.2	3,921	100.0

① 装置

当第3四半期連結累計期間は、売上高2,501百万円（前年同期比45.1%増）となりました。一方で、営業費用は2,130百万円（前年同期比22.7%増）となり、営業利益370百万円（前年同期は営業損失△12百万円）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ（研究室）自動化装置

ロシユグループやキアゲングループに供給しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ（研究室）向けの各種自動化装置のことであり、658台の出荷により、売上高1,530百万円（前年同期比17.1%増）となりました。一方で、営業費用は1,266百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益263百万円（前年同期比179.8%増）となりました。前年同期には、一部ロシユグループ向けに開発売上がありましたが、当第3四半期連結累計期間は、全て製品機の出荷となりました。そのため、利益率が大きく改善されました。

(b) 臨床診断装置

株LSIメディエンスに供給している免疫化学発光測定装置やアボットグループ向けの新規OEM製品である臨床診断用の検体前処理装置などの臨床分野向け装置のことであり、304台の出荷に開発売上也加え、エリテックグループに対するOEM契約に伴う手数料収入などもあり、売上高971百万円（前年同期比132.5%増）となりました。一方で、営業費用863百万円（前年同期比64.8%増）となり、営業利益107百万円（前年同期は営業損失△106百万円）となりました。当第3四半期連結累計期間は、アボットグループやエリテックグループ向けの新規OEM製品の立ち上げ期であり、納期優先で対応しているため全体としては低採算の状況ですが、手数料収入が大きく収益に貢献いたしました。

② 試薬・消耗品

当区分は、当社装置の使用に伴い消費される、DNA抽出用の試薬や反応容器などの専用プラスチック消耗品の区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品は当社から購入する契約となっております。また、一部のOEM先に対しては、当社が試薬製造も請け負っており、昨年11月には、当社「大館試薬センター」が稼動し、アボットグループやエリテックグループ向けの試薬製造が開始されております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高850百万円（前年同期比21.3%増）となりました。営業費用は816百万円（前年同期比23.4%増）となり、営業利益33百万円（前年同期比13.8%減）となりました。当第3四半期連結累計期間は、新工場（大館試薬センター）の立ち上げ期であり、コストが先行しているため、営業利益ベースでは若干の減益となりましたが、当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ（交換部品）販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高258百万円（前年同期比21.4%増）となりました。営業費用は219百万円（前年同期比7.5%増）となり、営業利益38百万円（前年同期比358.9%増）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス㈱が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高328百万円（前年同期比59.7%増）となりました。営業費用は269百万円（前年同期比35.8%増）となり、営業利益58百万円（前年同期比717.8%増）となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス㈱の収益確保のための事業となっています。

⑤ その他

当区分は、上記①～④のいずれにも該当しない売上を区分しています。主には、PSSキャピタル㈱とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業の区分であります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高はなく（前年同期は売上高6百万円）、営業費用は1百万円（前年同期比91.1%減）となり、営業損失△1百万円（前年同期は営業損失△6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,722百万円となり、前連結会計年度末に比べて576百万円の減少となりました。配当金や未払法人税を支払った影響などから、現金及び預金が1,018百万円減少した他、受取手形及び売掛金が125百万円増加、たな卸資産が228百万円増加、その他流動資産が215百万円増加いたしました。また、減価償却などにより有形固定資産が115百万円減少いたしました。

負債合計は2,591百万円となり、前連結会計年度末に比べて381百万円の減少となりました。未払法人税等が655百万円減少した他、支払手形及び買掛金が132百万円増加、短期借入金が370百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が231百万円減少、その他流動負債が239百万円減少、長期借入金が206百万円増加いたしました。

純資産合計は4,130百万円となり、前連結会計年度末に比べて194百万円の減少となりました。四半期純損失50百万円の発生と期末配当136百万円の実施により、利益剰余金が187百万円減少した他、為替換算調整勘定が10百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、下記のとおり修正を実施しております。詳細につきましては、本日（平成27年5月15日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成27年6月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	△400	△330	△350	△19円18銭
今回修正予想 (B)	5,000	△380	△230	△260	△14円25銭
増減額 (B - A)	0	20	100	90	
増減率 (%)	0.0%	-%	-%	-%	
(参考) 前期実績 平成26年6月期	3,921	△891	△826	611	33円53銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,103,317	2,085,104
受取手形及び売掛金	962,980	1,088,975
商品及び製品	772,808	929,580
仕掛品	201,618	211,390
原材料及び貯蔵品	113,397	175,624
繰延税金資産	7,225	3,608
その他	435,644	651,174
貸倒引当金	△1,359	△1,426
流動資産合計	5,595,632	5,144,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	815,110	760,089
機械装置及び運搬具(純額)	117,631	95,630
工具、器具及び備品(純額)	262,098	217,684
土地	369,710	348,829
リース資産(純額)	6,740	5,329
建設仮勘定	2,930	30,880
有形固定資産合計	1,574,222	1,458,444
無形固定資産	69,624	56,126
投資その他の資産	59,266	64,046
固定資産合計	1,703,112	1,578,617
資産合計	7,298,745	6,722,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476,509	608,556
短期借入金	—	370,000
1年内返済予定の長期借入金	588,109	356,462
リース債務	2,654	2,424
未払法人税等	675,617	20,599
賞与引当金	6,608	43,338
その他	442,845	203,021
流動負債合計	2,192,345	1,604,402
固定負債		
長期借入金	665,704	872,160
リース債務	5,884	4,065
繰延税金負債	50,380	49,365
退職給付に係る負債	59,396	61,915
その他	26	—
固定負債合計	781,391	987,506
負債合計	2,973,736	2,591,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,217,194	2,217,194
資本剰余金	251,999	251,999
利益剰余金	1,567,688	1,380,391
株主資本合計	4,036,881	3,849,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	842
為替換算調整勘定	△17,423	△27,754
その他の包括利益累計額合計	△17,423	△26,911
少数株主持分	305,550	308,067
純資産合計	4,325,008	4,130,741
負債純資産合計	7,298,745	6,722,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,850,239	3,938,445
売上原価	1,875,679	2,518,063
売上総利益	974,560	1,420,381
販売費及び一般管理費	1,467,579	1,599,425
営業損失(△)	△493,019	△179,044
営業外収益		
受取利息	1,200	404
為替差益	28,715	59,990
助成金収入	10,478	97,072
その他	49,833	8,257
営業外収益合計	90,228	165,724
営業外費用		
支払利息	13,239	11,458
その他	162	—
営業外費用合計	13,402	11,458
経常損失(△)	△416,192	△24,777
特別利益		
投資有価証券売却益	3,822,683	0
固定資産売却益	860	7
特別利益合計	3,823,543	8
特別損失		
固定資産売却損	—	1,982
固定資産除却損	233	100
関係会社株式売却損	482	—
減損損失	—	4,240
特別損失合計	715	6,322
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	3,406,635	△31,092
法人税、住民税及び事業税	697,336	15,141
法人税等調整額	461,453	2,765
法人税等合計	1,158,790	17,906
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,247,845	△48,998
少数株主利益	1,216,865	1,407
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,030,979	△50,406

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,247,845	△48,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,500,651	2,148
為替換算調整勘定	47,511	△10,330
その他の包括利益合計	△3,453,140	△8,182
四半期包括利益	△1,205,295	△57,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△262,651	△59,894
少数株主に係る四半期包括利益	△942,644	2,713

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,724,309	701,107	212,880	205,444	2,843,741	6,498	2,850,239	—	2,850,239
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,724,309	701,107	212,880	205,444	2,843,741	6,498	2,850,239	—	2,850,239
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△12,296	39,161	8,390	7,195	42,450	△6,534	35,916	△528,935	△493,019

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含ん
でおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△528,935千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っており
ます。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売 上高	2,501,311	850,600	258,390	328,143	3,938,445	—	3,938,445	—	3,938,445
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,501,311	850,600	258,390	328,143	3,938,445	—	3,938,445	—	3,938,445
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	370,858	33,749	38,502	58,849	501,960	△1,158	500,802	△679,846	△179,044

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△679,846千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っており
ます。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。